

# Tmab+SP

Tmab(トラスツズマブ)+S-1(エスワン)+CDDP(シスプラチン)

**【適応】**

HER2 過剰発現が確認された進行・再発胃がん

**【投与スケジュール】**

	Day1		Day14		Day21
Tmab (初回) 8mg/kg (2回目以降) 6mg/kg	↓				
CDDP 60mg/m <sup>2</sup> 2時間かけて	↓				
S-1 80mg/m <sup>2</sup> ※ 分2	→				

S-1 は Day1 の夕から服用開始し、14 日間服用する (Day15 の朝まで)。1 週間休薬。

3 週を 1 コースとする

※重度 (Grade3 以上) の Infusion reaction が現れた場合、本剤の投与を中止し、以降、本剤を投与しないこと。また Grade2 以下の Infusion reaction が現れた場合は、投与速度を減じて慎重に投与すること。

※Tmab は投与予定日より 8 日以上経過した場合は、初回量 (8mg/kg) で開始する。

※Tmab は初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。

**※S-1 投与量**

体表面積	投与量
1. 25m <sup>2</sup> 未満	40mg/回
1. 25m <sup>2</sup> 以上 1. 5m <sup>2</sup> 未満	50mg/回
1. 5m <sup>2</sup> 以上	60mg/回

**【S-1 の減量の目安】**

初回基準量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
	休薬	40mg/回 →休薬	50mg/回 →40mg/回 →休薬

【腎障害時の投与量変更例】

◎S-1

Ccr (mL/min)	>80	50~80	30~50	<30
	減量なし	必要に応じて1段階減量投与量から開始	1段階以上の減量投与量から開始	投与不可

<GDDP> 腎障害時の減量方法

CCr (mL/min)	61 以上	60-46	45-31	30 以下
	減量なし	75%に減量	50%に減量	禁忌だが、 必要な場合は50%に減量して投与